

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
4	7	高橋光孝	<p>岩沼市の危機管理について</p> <p>1. 岩沼市の危機管理について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス対策について</p> <p>① 市内で発症例が出た場合、どのように対処していくのか伺う。</p> <p>② 市内で発症例が出た場合、小・中学校ではどのように対処していくのか伺う。</p> <p>③ 市主催の行事などの対応について伺う。</p> <p>④ 民間主催の行事・イベント等に対して、市は延期や中止の要請等を検討しているのか伺う。</p> <p>⑤ 市内及び近隣市町で発症例が出た場合、経済の疲弊が懸念されるが、倒産や離職・失業などが起きた場合の対策は考えているのか伺う。</p> <p>(2) 風水害対策について伺う。</p> <p>① 人命第一を考えると早期避難が最善策と考えるが、危険区域でも避難をしない、また、避難が遅いケースも想定される。早期避難をしてもらうための対策について伺う。</p> <p>② 阿武隈川の氾濫が起こりそうな場合は、広域避難が想定されるが、本市の広域避難の考えについて伺う。</p> <p>③ イノシシ被害対策を農業被害だけではなく土砂災害被害対策としても捉え、抜本的なイノシシ対策をとるべきと考えるが、見解を伺う。</p>	市長 教育長
5	1	大村晃一	<p>指定避難所と避難場所について</p> <p>1. 避難所と避難場所の設置基準について</p> <p>(1) 現在、岩沼市で指定されている避難所と避難場所は、定期的な施設の確認や設置箇所の見直しを行っているのか伺う。</p> <p>(2) 災害時の避難場所として、市が公開している指定緊急避難場所一覧について伺う。</p> <p>(3) 指定避難所及び指定緊急避難場所となっているハナトピア岩沼にあるドクターヘリ離着陸場について伺う。</p> <p>2. 避難所及び避難場所の備蓄品について</p> <p>(1) 現在の備蓄品の選定基準について伺う。</p> <p>(2) 女性や子ども目線の備蓄品を追加してはどうか伺う。</p>	市長

(続)	1	大村晃一	3. 災害対応自動販売機について (1) 避難所や避難場所に災害対応自動販売機等の設置を検討してはどうか伺う。	市長
			<u>SDGs (持続可能な開発目標) について</u> 1. 岩沼市が取り組むSDGsについて (1) 環境未来都市に選定された岩沼市が、なぜ今までSDGs未来都市に応募しなかったのか伺う。 (2) 今後、岩沼市が取り組むSDGsとは具体的に何を行うのか伺う。 2. 今後のSDGsの周知や浸透について (1) 今後、岩沼市がSDGsを取り組んで行く中で、市民や企業へどのように周知や浸透を図って行くのか現状を伺う。 (2) 岩沼市中小企業・小規模企業振興基本条例なども活用した発信を行ってはどうか伺う。 (3) カードゲーム「2030SDGs」を導入してはどうか伺う。	市長
6	10	酒井信幸	<u>新型コロナウイルス感染症の対応等について</u> 1. 岩沼市の新型コロナウイルス感染症の対策について (1) 新型コロナウイルス対策本部のメンバーと、これまで開催された会議の内容について伺う。 (2) 岩沼市で行っている新型コロナウイルス対策について伺う。 (3) 山元町からマスク3万枚の提供を受けたが、岩沼市ではマスクの備蓄品が不足したためなのか伺う。 (4) 岩沼市内において新型コロナウイルスの感染者を確認した場合、どのような対応をすることになっているのか伺う。 (5) 新型コロナウイルスに関する相談窓口を担当部署に設置する考えはあるのか伺う。 2. 幼稚園、保育所、小・中学校の対策について (1) 幼稚園、保育所、小・中学校ではどのような対策を行っているのか伺う。 (2) 卒業式(卒園式)や入学式(入園式)の開催の有無について伺う。 (3) 小・中学校の修学旅行の実施の有無について伺う。 3. 今後、岩沼市が主催する行事や会議等の開催の判断基準について伺う。	市長 教育長

(続)	10	酒井 信幸	<p>投票率の向上等について</p> <ol style="list-style-type: none"> 投票率向上を目指し、令和元年記念イベント（参議院議員選挙、宮城県議会議員選挙、岩沼市議会議員選挙の投票を行った市民に岩沼係長限定グッズのプレゼント）を行ったが、投票率向上に繋がったのか伺う。 今後も投票率向上を目指したイベントを行うのか伺う。 子どもたちは、選挙の仕組み等についての授業は何年生で行っているのか伺う。 岩沼市では、これまで開票の中間発表をホームページでは行っていないが、その理由を伺う。 今後、開票の中間発表をホームページで行う考えはあるのか伺う。 エフエムいわぬまで、開票の中間発表を30分ごとにできないか伺う。 	市長 教育長 選挙管理委員会委員長
7	12	渡辺 ふさ子	<p>自衛官募集について</p> <ol style="list-style-type: none"> 適格者名簿の提供について、市は平成26年度から名簿の資料提出を行っているが、提供した年度ごとの人数と年齢の範囲を伺う。 平成26年度から令和元年度までの岩沼市民の自衛隊入隊数を伺う。 「自衛隊法施行令第120条」及び「住民基本台帳法第37条第1項」には、「市町村長に対し、資料の提供を求めることができる」となっているが、「名簿を提供しなければならない」という「義務規定」が書かれているわけではない。「自衛隊に市民の個人情報を提供することは、強制や義務ではない」と、この点を確認したいがどうか。 適格者名簿の提供について、本人や家族の同意を得ているのか伺う。 適格者名簿を作り自衛隊に提出している自治体は632自治体（36%）である（2017年度、防衛省調べ）。多くの自治体が個人情報やプライバシー権を保護する観点から、本人同意なしの情報提供に応じていないことについて見解を伺う。 市民の個人情報を守るどころか、若者のデータを抽出して外に出すことは、市民理解が得られるものではないと考えるが、見解を伺う。 住基法は「閲覧」は認めているが、名簿「提供」までは認めていない。個人情報保護を求める住民の 	市長

(続)	1 2	渡 辺 ふさ子	声を尊重して、資料提出はやめるべきではないか。	
			<p><u>(仮称)西部地区防災コミュニティセンターについて</u></p> <p>1. (仮称)西部地区防災コミュニティセンターの設計が元年度中に完了する見込みであると施政方針で示された。まもなく年度末となるが、これまでの提案や検討委員会の報告がどのように反映されているのか、設計の概要について伺う。</p> <p>(1) 昨年6月定例会において、ヒアリンググループシステムの設計への取入れを提案したが、どうなったか伺う。</p> <p>(2) 平成30年12月定例会において、防災面の強化を重要視すべきとして、飲料水の確保、自家発電(太陽光パネルなど)、安否確認システム、自動開錠ボックスなどを提案したが、どうなっているか伺う。</p> <p>(3) 検討委員会の中間報告書に盛り込まれた「重要な施設機能」は、どこまで設計に取り入れられているのか伺う。</p> <p>(4) 1階、2階の床面積を伺う。</p>	市長
			<p><u>聴覚障害者への支援対策について</u></p> <p>1. 昨年6月定例会において、ヒアリンググループの導入を提案した。</p> <p>他自治体の設置の動向や先進自治体の事例等も含め、研究や検討をしたいとの答弁があったが、その後の進展を伺う。</p> <p>2. 厚労省は2019年度から地域生活支援促進事業の1つとして障害者ICTサポート総合推進事業を新設した。各自治体の施設におけるヒアリンググループの設置状況等について全市町村にアンケート調査や難聴者のニーズ調査をしている。市のニーズ調査は行ったのか。行ったなら結果を伺う。</p> <p>3. 高齢者等向け対話支援システム「comuoon mobile(コミュニケーションモバイル)」の導入、貸付けの要望が岩沼市身体障害者福祉協会の方から寄せられている。検討してはどうか。</p>	市長
8	9	布 田 恵 美	<p><u>いきいきとした活力あるまちづくりについて</u></p> <p>昨年2月定例会において「外国人労働者受入れ」関連について一般質問で取り上げた。今回は、その後の「外国人労働者の労働環境」並びに「地域との関わり」について伺う。</p>	市長

(続)	9	布田 恵美	<p>1. 現在、市内の企業に就労する外国人労働者の数は300名余りと聞いている。「外国人労働者受入れ」については、労働力確保ひいては企業の存続に関わる大切な課題と考えている。</p> <p>(1) 1年前の「外国人労働者受入れに対し認識を問う」に対する市長答弁では、「地域の皆さんとしっかり話し合い、受け入れる形を整えていかないと、後々何かトラブルが起きそうな、思いで受けとめております。」とあった。その後の取組と進捗を伺う。</p> <p>(2) 今回、施政方針に掲げている「労働力不足や外国人労働者の増加に関する『市内企業への支援』」とは具体的にどのような内容なのか伺う。</p> <p>(3) 担当の窓口、係を置くことを考えてはどうか。</p> <p>2. 災害時の対応についての問いに対して、昨年の答弁では「県で作っている、多言語化されている災害ハンドブックを配付して、基本的な防災の知識も持っていていただくように対応させていただいております。」とあったが、現在はどのようなになっているのか伺う。</p> <p>3. 「互いの文化交流をはかること、市民交流フェスティバルや市民まつりでの相互理解のための交流」の提案に対して、「検討してみたい」と答弁された。その後、どのように検討されてきたのか伺う。</p> <p>4. 「やさしい日本語」について、役所内での研修、また市民向けの講座などで広く学ぶ機会を進めてはどうか。</p>	市長
			<p>安心して子育てできる環境整備について</p> <p>1. 現在の亀塚保育所は、建設中の亀塚第一住宅跡地の複合施設内に民間の保育所として運営されていくと聞いている。公立保育所から民間の保育所となる事例は市内で初めてのことであり、利用対象となる子どもたちが安心して安全に新しい保育所での保育に慣れること、スムーズに移行することは勿論、保護者に対しても丁寧な対応が求められている。</p> <p>(1) 昨年2月議会時には、「今年9月から着工、平成33年4月に保育園関係の開所」と今後の予定を答弁された。具体的な開園時期はいつになるのか。</p> <p>(2) 保護者向けに、どのような頻度で説明会を行っているのか。</p> <p>(3) 保護者から不安の声は出ていないのか。</p>	市長 教育長

(続)	9	布田 恵美	<p>(4) 働く保育士への説明、人員配置などの説明は、どのような頻度で行っているのか。</p> <p>(5) 職員から不安の声は出ていないのか。</p> <p>(6) 亀塚保育所に現在勤務する保育士の処遇は、どのようになるのか。</p> <p>(7) 施設は公立から民間へ変わり、職員（保育士）は異動、場合によっては継続の方もあられるかもしれない。通う子どもたちにとっては、先生が変わることは低年齢なだけに負担は大きいものが予想される。その辺の配慮はどのように考えているのか。</p> <p>2. 「安全・安心なインフラ整備」として、スクールゾーンの主要な交差点への防護柵の設置が掲げられている。</p> <p>(1) 具体的な設置箇所は、どこになるのか。</p> <p>(2) 形状は、どのようなものになるのか。</p> <p>(3) 設置時期は、いつ頃の見込みか。</p>	市長 教育長
9	17	佐藤 一郎	<p>人間ドック受診費用の一部助成について</p> <p>1. 昨年の2月、9月に提言してきたとおり、がんは、早期発見、早期治療が重要であり、早期治療は治療費の節減になることから、人間ドック、脳ドック及び心臓ドックの受診者に対する助成を検討すべきと考える。今般の施政方針では、人間ドック受診費用の一部助成を国民健康保険事業において実施することだが、その詳細について伺う。</p> <p>(1) 人間ドック受診費用の助成対象者の年齢は、何歳から何歳までか伺う。</p> <p>(2) 人間ドック受診費用の助成対象となる検査項目（対象部位等）について伺う。</p> <p>(3) 内視鏡検査（胃、大腸検診）も受診費用助成の対象となるのか伺う。</p> <p>(4) 助成される受診費用の負担割合を伺う。</p> <p>(5) 人間ドック受診費用の助成に係る申請手続は、どのように行うのか伺う。</p> <p>(6) 市内の医療機関の受入体制について伺う。</p> <p>(7) 市外の医療機関の受入体制について伺う。</p> <p>(8) 市民への周知はどのように行うのか伺う。</p>	市長
			<p>仙台空港を活かした新たなまちづくりについて</p> <p>1. まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の1つに、「安定した雇用を創出し維持する」と挙げられている。</p> <p>(1) 仙台空港を活かした新たなまちづくりとは、</p>	市長

(続)	17	佐藤 一郎	<p>どのようなことを考えているのか、伺う。</p> <p>(2) 過去に締結した県との覚書には、仙台空港周辺の活性策として臨空都市整備構想があるが、仙台空港を活かしたまちづくりとの関連性について伺う。</p> <p>(3) 宮城県内の農産物や水産物を販売したり、東北の味覚が楽しめる飲食店が併設された「空の駅」の設置や誘致を考えてはどうか伺う。</p>	市長
10	3	高梨 明美	<p>子育て支援について</p> <p>1. 不登校対策について</p> <p>(1) いわぬま子どもの心のケアハウス「あいる一む」について</p> <p>① 「あいる一む」の現況について伺う。</p> <p>② 児童・生徒が出席しやすい環境づくりのため、送迎を検討してはどうか伺う。</p> <p>(2) 小・中学校に学び支援教室を設置してはどうか伺う。</p> <p>2. 西児童センターの活用について</p> <p>(1) 西児童センターに対しての市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 今後のスケジュールを伺う。</p> <p>(3) 遊戯室に遊具を設置するなど、乳幼児も含めて遊べる屋内施設にしてはどうか伺う。</p>	市長 教育長
			<p>がん対策について</p> <p>1. がん予防施策について</p> <p>(1) 岩沼市のがん対策の取組と課題について伺う。</p> <p>(2) 5つのがん検診の受診率を伺う。(平成29年度と平成30年度)</p> <p>2. 胃がん対策について</p> <p>(1) 胃の内視鏡検査(胃カメラ検査)を導入してはどうか伺う。</p> <p>(2) ピロリ菌検査を実施してはどうか伺う。</p> <p>3. 乳がん対策について</p> <p>(1) 乳がん検診グローブ(手袋)を配布してはどうか伺う。</p>	市長
11	2	寒風澤 敦司	<p>農業振興について</p> <p>1. 市の農業振興全体について</p> <p>(1) 市の農業に対する取組について、強い農業づくりのための今後の具体的な施策を伺う。</p> <p>(2) 現在も農業従事者の減少が問題となっている地域があるが、市の担い手育成への取組について伺う。</p>	市長

(続)	2	寒風澤 敦 司	<p>2. ほ場整備について</p> <p>(1) 進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 農業者からの要望や課題について伺う。</p> <p>3. 認定農業者について</p> <p>(1) 現在の認定農業者の登録人数について伺う。</p> <p>(2) 認定農業者のメリットとして次の制度があるが、どの程度活用されているのか伺う。</p> <p>① 資金融資</p> <p>② 税制の特例</p> <p>③ 農業者の特例保険料</p> <p>④ 農業経営基盤強化準備金</p> <p>⑤ 青年就農給付金</p> <p>4. 新規就農者について</p> <p>(1) 近年の新規就農者の参入状況について伺う。</p> <p>5. 震災後の農業について</p> <p>(1) 震災後の市内農業生産額が、震災前と比較してどの程度回復しているのか伺う。</p>	市 長
1 2	6	菊 地 忍	<p><u>宮城県後期高齢者医療広域連合第3次広域計画について</u></p> <p>1. 後期高齢者医療費の現状は、高齢者の増加に伴い毎年約 100 億円ずつ増加しており、1人当たりの医療費も毎年増加しています。</p> <p>宮城県の総人口は減少し続ける一方で、後期高齢者人口は令和 17 年まで増加し、その後減少に転ずることが見込まれています。</p> <p>このような現状のもと、宮城県後期高齢者医療広域連合第3次広域計画の見直しにより、様々な対策が行われ始めています。</p> <p>(1) 計画の変更で、広域連合が行う「高齢者保健事業」と市が行う「保健事業」と「介護予防事業」の一体的実施が計画されたが、市はどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 令和 2 年度宮城県後期高齢者医療特別会計予算で(1)の一体的な取組を岩沼市を含む県内 4 つの市町で先進して実施することになり、そのための費用が予算化されたが、市はどのような取組を考えているのか伺う。</p>	市 長
			<p><u>G I G A スクール構想について</u></p> <p>1. 令和元年 12 月に文部科学省が発表した「G I G A スクール構想」では、令和 5 年度までに児童生徒「1 人 1 台」の学習者用端末を全・小中学校に整備する</p>	市 長 教育長

(続)	6	菊 地 忍	<p>という内容で、1台当たり4万5,000円を国が補助するとしている。また、外部から学校内全ての教室まで高速かつ大容量の通信ネットワークの整備を推進するとされている。</p> <p>Society5.0時代を生きる子どもたちの教育において、ICT基盤の整備は必要不可欠であることから、我が市としてもしっかりと取り組まなければならないと考える。</p> <p>(1) GIGAスクール構想について市の考えを伺う。</p> <p>(2) GIGAスクール構想の整備計画について。</p> <p>① 端末の設置計画を伺う。</p> <p>② 校内LAN・無線LANの整備計画を伺う。</p> <p>③ 校外ネットワークの整備計画を伺う。</p> <p>(3) ICT機器やICT教材を使いこなす人員をどのように養成していくのか伺う。</p> <p>(4) 教育のICT化に向けた環境整備におけるICT支援員の配置について、見解を伺う。</p>	市 長 教育長
-----	---	-------	---	------------